

町の発展を願って 大河原町新春賀詞交歓会

新年を迎え、町の発展に向けた意見を交換する「新春賀詞交歓会」が1月5日にウエディングパーク桜フロアで開催されました。

今年も町内企業や行政区長、各種団体の代表など約200人が出席し、場内は満員御礼となりました。

冒頭の町長のあいさつでは、大河原町の創生総合戦略のスローガンである「活力ある健幸都市を目指して」を念頭に、「今年が、大河原町の創生元年となるよう、14の事業に取り組んで参ります」と決意表明されました。

出席した皆さんは、和やかな雰囲気の中で、町の今後のありかたなどについて、活発に意見や情報交換を行いました。



▲たくさんの皆さんに参加いただき、大河原町の更なる前進の年となるよう親睦を深めました。

親子で正月遊びを楽しもう

お正月の遊びとお話しの会

1月10日、オーガ2階イベントホールで「お正月の遊びとお話しの会（主催：駅前図書館）」が開催されました。

初めに読み聞かせボランティアの皆さんによる紙芝居や絵本の読み聞かせが行われ、参加した親子の皆さんは、お話しの世界に引き込まれるような読み聞かせに夢中になっていました。

読み聞かせの後は、お待ちかねのお正月遊び。羽根つきやけん玉、福笑いやすごろくなど、伝統的なお正月遊びがたくさん用意され、お父さんお母さんも懐かしみながら、子どもたちと一緒に正月遊びを満喫しました。



▶お母さんとあやとりに挑戦。何ができるかな？

▶読み聞かせボランティアの皆さん。耳を傾ける参加者の皆さん。

日本とイギリスの架け橋に

南小学校の児童は平成26年12月より、国際理解教育を踏まえて、イギリスの「エスコム小学校」の児童とインターネットでの交流を図ってきました。そして、今回冬休み期間を利用して1月4日～10日までの日程で、5年生の代表11人が「エスコム小学校」を実際に訪問し、その帰国報告に1月18日来庁されました。

イギリスでの交流や研修の写真を交えながら、向こうの様子が報告された後、児童一人一人から感想が述べられ、エスコム小学校の児童と折り鶴や兜などを一緒に作り日本の伝統に親しんでもらったことや、イギリスの歴史などにも触れられたことなど、とても貴重な体験ができたようでした。児童の一人は「今回の交流で日本とイギリスに何かつながりが持てればいいと思う」と話し、その様子からは、今回のイギリス訪問を経て一回り大きくなった姿を見ることができました。

南小学校児童、イギリス訪問帰国報告



▲南小学校代表児童11名。エスコム小学校からプレゼントされたお揃いのパーカーを着用しての、帰国報告となりました。

イギリス訪問の詳しい内容をご覧になりたい方は、大河原南小学校ホームページ
<http://www.town.ogawara.miyagi.jp/minamisyo/>
「エスコム (Escomb)」へアクセスしてください。

(関連記事：14 ページ学び舎通信掲載)

楽しく学ぶ電池のしくみ

ソニーものづくり教室「電池を作ろう！」

12月24日、世代交流いきいきプラザで「ソニーものづくり教室（主催：アートのたからばこ、共催：ソニー教育財団）」が開催されました。ソニーセミコンダクタ(株)白石蔵王テクノロジーより講師を招いて、「電池は何種類くらいあるか」や「電池はどんなものに使われているか」などをクイズ形式で学んだり、バケツと塩水などを使用したバケツ電池で電気の流れるしくみを実際に確認したり、自分たちの手でオリジナル電池を作ったりしました。

最後に講師から参加した子どもたちひとりひとりに教室の修了証が手渡されると、参加した子どもたちからは「電池のしくみがわかりやすかった」「簡単に電池が作れて楽しかった」などの感想が述べられ、電池を身近に感じた一日となりました。



自分で作ったオリジナル電池を手に、講師の皆さんと記念撮影。

▶バケツ電池で電気が流れるのを確かめる子どもたち。

歴史を後世に残すために

第62回文化財防火デー

毎年1月26日の「文化財防火デー」に合わせて、町内の文化財所有者と大河原消防署、大河原町消防団の協力により防災訓練が行われています。

今年は1月17日に実施され、国指定重要文化財「鰐口」を所有する大高山神社と町指定文化財「阿弥陀如来坐像」を所有する吉祥山繁昌院で、火災発生を想定し、消防署員と消防団員が放水訓練を行いました。

町の貴重な文化財を守り続けていくためには、町全体で防火と防災に対する意識を高めていくことが大切です。



大高山神社

▲寒空の下、機敏に段取りし放水を行う消防署員と消防団員。

健康管理を心掛けて

永窪トシさん 100歳おめでとうございます

永窪トシさん（上谷1区）が、12月30日に100歳の誕生日を迎えられました。1月6日には、町から敬老の意を表してお祝いが贈られ、現在入所されている桜寿苑で「百賀を祝う会」が開催されました。

トシさんは、大正4年柴田町で生まれ、その後平成13年に桜寿苑に入所されるまで柴田町にお住まいでした。お裁縫が得意で、若い頃はお裁縫を教えたり、縫製関係の仕事をしていました。

旦那様を早くに亡くされ、その旦那様が高血圧だったということもあり、自身の食生活などの健康管理には人一倍気をつけてきたそうです。そうした努力が長生きの秘訣となったのでしょう。これからも元気で過ごしてください。



▲「百賀を祝う会」では、早起きして疲れてしまったようで、気持ちよさそうに眠っておられました。